

令和6年度
学校関係者評価中間まとめ



輪島市仮設校舎内 6 小学校

輪島市立河井・大屋・鳳至・鵜巣・河原田・三井小学校

〒928-0001

石川県輪島市河井町 18 部 1 番地 2

TEL 0768-23-4330 FAX 0768-23-4345

教育目標及び教育方針

1 教育目標 「ふるさとを愛し 心豊かにたくましく生きる子の育成」

2 めざす児童像 ◇進んで学び合う子 ◇礼儀正しく思いやりのある子 ◇体と心をきたえる子

3 めざす学校像 一人一人が挑戦し、やり遂げることで笑顔や感動があふれる学校

4 教育理念

“挑戦 感動 笑顔”

5 今年度の学校経営の基本方針の重点とその具体化

(1) 学力の向上(進んで学び合う子)

【日々の授業づくり】

- ① 児童が「やってみよう」と興味・感心を示す授業の導入や課題提示を行い、身につけた知識を活用して、学びへと向かう力を高める。
- ② 教師の関わりや発問により、一人一人が考えを深めていくことのできる授業を追究し、児童の思考力・判断力・表現力を高める。
- ③ 授業に一人一台の端末の効果的な活用場面を取り入れ、学びの質を高め、資質・能力を伸ばす。
- ④「感動」ある「主体的・対話的な深い学びのある授業」の実現に向けて、教師一人一人が授業力を向上させる校内研修の充実を図る。

【授業を支える学習基盤の充実】

- ① 「聞く・話す」能力を育成する。(授業のみならず、集会、校外学習など諸活動において)
- ② 「読む・書く」活動の充実を図り、語彙力を育成する。(読書活動、短作文、日記など)
- ③ 学習環境を整備する。(既習事項や学習の足あと掲示、共通実践の学習ルールなど)

(2) 豊かな心の育成(礼儀正しく思いやりのある子)

【人間力の育成】(時を守り、場を清め、礼を正す)

- ① あいさつ・返事(反応)のできる子の育成に向けて、日々の指導を行う。…礼
- ② 時間を守ることができる子を育成するために、常に余裕をもって行動する。
(5分前行動)…時
- ③ 学習環境を整え、気持ちよく学習に向かえるようにする。
(清掃指導、身の回りの整理整頓)…場

【よりよい人間関係と自己有用感の構築】

- ① いじめ・不登校の未然防止や早期発見・早期対応に向けて、日常的な「廊下の生徒指導」を徹底する。
- ② 道徳授業の充実を図る。「命の尊さ」「友達のよさ」「思いやり」など、GTの活用
- ③ 体験活動やボランティア活動を推進する。
- ④ 一人一人に活躍の場を設け、自己有用感をもたせる。

(3) 健やかな体と心の育成(体と心をきたえる子)

【基本的な生活習慣の育成】(養護教諭を中心として、担任や保護者と連携する)

- ① 早寝・早起き・食習慣の大切さを理解し、よりよい行動がとれるようにする。
- ② 歯磨きや体の清潔に心がけ、病気を予防するための知識や行動を身につける。
- ③ 姿勢よく過ごすことは、体のみならず心にも影響し、学習効果につながることを指導する。
- ④ 睡眠時間やメディア視聴時間の指導の充実を図る。

【たくましい体づくり】

- ① 「体力アップ1校1プラン」の実施と「スポチャレいしかわ」の積極的参加を目指す。
- ② 体育的行事(運動会、水泳記録会、マラソン大会、縄跳び集会、スキー学習)を活用し、体力向上を図る。

【安全指導の充実】

- ① 各種避難訓練や交通安全教室、防犯教室などを行い、安全を守るための行動を身につける。
- ② 年間計画に基づく安全教育・防災教育を実施する。

(4) 家庭・地域との連携

- ① キャリア教育や総合的な学習の時間を中心に、地域人材との協働活動や地域資源の有効活用をする。
- ② 学校公開、授業参観を定期的に行うとともに、日々の教育活動を発信し、情報共有を図る。

(5) 組織的な学校づくりと働き方改革→キーワード「報告・連絡・相談」「すぐやる!」「2時間勝負」

- ① 全児童を全職員で育てる体制づくり(廊下の生徒指導、報告・連絡・相談の徹底)
- ② 日常的な研修(OJT)を推進し、研修を積み上げる。
- ③ 常に「最悪を想定して行動」できる危機管理意識を高める。
- ④ 服務規律の徹底を図るための定期的な研修やセルフチェックを行う。
- ⑤ 教育の本質を見極めた業務改善を推進し、全職員で時間外勤務の削減を実行する。

6 目指す教師像

◇人間力の向上に努める教師:「時を守り 場を清め 礼を正す」

◇指導力の向上に努める教師:児童に対する愛情とプロ意識

◇組織的な学校づくりに努める教師:自己の役割を果たし、協働で(学校職員・保護者・地域)職務に励む

令和6年度 輪島市6小学校児童アンケート(1・2・3年:10月期)

※上段数値:中間・下段数値:最終

		1 あてはまる	2 ややあてはまる	3 あまりあてはまらない	4 あてはまらない	肯定意見%
(1)	じゅぎょうの中で、じぶんで きめて がくしゅうに とりくんでいる。	63%	27%	7%	4%	89%
(2)	はなしを する人を見て きいている。	69%	23%	7%	1%	92%
(3)	じぶんの かんがえと くらべたり、ともだちが なにを いたいのか かんがえたりしながら 目と 耳と ところで きいている。	63%	30%	6%	2%	93%
(4)	がっきゅうは あんしんして はなしが できる。	68%	20%	9%	4%	88%
(5)	じぶんから きもちのよい あいさつが できましたか。	65%	25%	6%	4%	90%
(6)	とけいを見て こうどうできましたか。	53%	32%	11%	4%	85%
(7)	ひき出し、ロッカーの中は きれいに できましたか。	65%	21%	10%	4%	86%
(8)	「ろう下を走らない」を まもることが できましたか。	52%	31%	12%	5%	83%
(9)	ともだちが うれしいと おもう ことばを かけることが できましたか。	68%	25%	6%	1%	93%
(10)	しゅくだいを わすれずに 出すことが できましたか。	64%	26%	8%	2%	90%
(11)	たのしく 学校で せいかつすることが できましたか。	71%	18%	6%	5%	89%
(12)	しっばいを こわがらずに ちょうせんすることが できましたか。	67%	23%	8%	2%	90%

【中間結果数値の考察】○:成果 △:課題

○

質問(3)においては、肯定的評価数値が93%となり、学習においては、友達の考えに高い興味関心をもちながら学習に取り組んでいることがうかがえ、今後も児童の考えを他児童へつなげたり、様々な考えを発言したり、認めたりできたことを授業者が評価していく授業を継続していく。

○△

質問(12)においては輪島市6小学校の合言葉の1つである「挑戦」する心を90%の児童(約360人)がもっているが、否定的評価をしている児童も、学校行事をはじめとする教育活動に精いっぱい取り組んでいるため、更に学級・学年で、児童個々の成長をともに喜ぶ学校側の姿勢が求められる。

△

質問(6)(7)(8)の学習規律や学校のきまりの順守に関する質問については、83~86%であり、自己評価で15%程度(約60人)の児童が定着していない。仮設校舎で過ごす教育活動は今後も続いていくが、輪島市6小学校の校風の礎を固めていくのは、現在の1~3年生であり、自分が学習規律や学校のきまりを守ることで、相手のためになっていること(相手意識)を、学級活動や児童会活動で伝えていく場の設定は必要になる。

令和6年度 輪島市6小学校児童アンケート(4・5・6年:10月期)

※上段数値:中間・下段数値:最終

	1 あてはまる	2 ややあてはまる	3 あまりあてはまらない	4 あてはまらない	肯定意見 %
(1) 授業の中で、自己決定し学習に取り組んでいる。	42%	45%	10%	3%	87%
(2) 話をする人を見て聞いている。	52%	42%	5%	1%	94%
(3) 自分の考えと比べたり、相手が何を言いたいのか考えたりしながら聴いている。	43%	46%	10%	1%	89%
(4) 学級は安心して話ができる。	66%	25%	7%	2%	91%
(5) 自分から気もちのよいあいさつができましたか。	49%	38%	12%	1%	87%
(6) 時計を見て行動できましたか。	52%	41%	5%	2%	93%
(7) 引き出し、ロッカーの中はきれいにできましたか。	54%	27%	13%	6%	81%
(8) 「ろう下を走らない」を守ることができましたか。	27%	42%	24%	7%	69%
(9) 相手がうれしいと思う言葉をかけることができましたか。	53%	39%	7%	1%	92%
(10) 宿題をわずれずに出すことができましたか。	49%	36%	7%	8%	85%
(11) 楽しく学校生活を送ることができましたか。	71%	22%	5%	2%	93%
(12) 失敗をおそれずに行動することができましたか。	45%	42%	11%	2%	87%

【中間結果数値の考察】○:成果 △:課題

○
質問(11)について、多感な時期を迎える高学年であるが、肯定的評価が93%となった。在籍小学校が違う友達が増えたことや、これまでよりも多い人数で学習や学年行事、学校行事にともに協力しながら取り組めたことが要因と思われる。今後も児童に投げかけながら、児童自らが企画・運営する活動を取り入れたり、児童の言葉で児童に伝えていく場を設けたりするなど、児童同士が関わり合う場を重視した教育活動を継続して、肯定的評価100%をめざす。

○△
質問(9)については、相手(友達)のことを思いやる言葉を伝えたり、ともに協力して達成できたことに対して、互いに賛辞を送り合う姿がこれまでの教育活動にあったことが92%の数値となって表れたと考える。しかしながら、7%(約30名弱)が否定的評価であり、あたたかな言葉が溢れる学校づくりを実現できるよう、児童会活動とリンクした学級活動の充実が求められる。

△
質問(7)(8)の学習規律や学校のきまりの順守に関する質問については、低学年同様に低い数値となっている。特に(8)については60%台となっている。仮設校舎で過ごす輪島市6小学校の基本的な学校生活の雰囲気をつくり出していくのは、現在の4・5・6年生であり、学級活動や児童会活動で、高学年として最上級生として伝えていく責任を持たせることで個々の「自律・自立」を高めていきたい。

令和6年度 輪島市6小学校 保護者アンケート(中間結果)
輪島市立河井・大屋小学校 保護者結果分

※上段数値:中間・下段数値:最終

		1 あてはまる	2 ややあてはまる	3 あまりあてはまらない	4 あてはまらない	5 わからない	肯定意見 %
(1)	お子様は、楽しく学校へ通っている。	53%	38%	5%	3%	1%	91%
(2)	お子様は、学校で勉強する内容が分かっている。	36%	51%	7%	3%	3%	87%
(3)	お子様は、学習や学校行事にがんばっている。	50%	41%	3%	4%	2%	91%
(4)	お子様は、正しい挨拶や言葉遣いができている。	17%	54%	22%	4%	3%	71%
(5)	お子様は、家庭学習に取り組んでいる。	34%	45%	13%	7%	1%	79%
(6)	学校はいじめやその他のトラブルに、迅速に対応している。	39%	35%	6%	3%	18%	74%
(7)	学校は、学校行事が充実するよう努めている。	49%	39%	5%	2%	5%	88%
(8)	学校はお子様のことについて相談しやすい雰囲気である。	41%	42%	9%	2%	6%	83%
(9)	保護者として、学校からのお便り（学校・学年・保健・図書・給食）を読んでいる。	53%	42%	4%	1%	0%	95%
(10)	保護者として、お子様の成長を願い、褒めたりアドバイスしたりしている。	46%	50%	4%	0%	0%	96%

【中間結果数値の考察】○：成果 △：課題

○6つの小学校が合同となってスタートしているが、質問項目（1）の肯定意見が90%を超えるなど、児童は概ね学校生活を楽しんでいる様子がうかがえる。

○保護者の多くの方が学校からのおたよりに目を通してくださっている。今後もおたよりに通して学校の様子を発信していきたい。

△正しい挨拶や言葉づかいの肯定意見が低めとなっている。家庭とも連携しながら、挨拶・言葉づかいなどの礼法指導を継続的に行っていく必要がある。

△質問項目（6）のいじめやトラブルに対しての対応も肯定意見が低めになっているのに加えて、「わからない」と回答している割合も18%と高い。学校教育に関する悩みや相談の受け皿について保護者に積極的にアナウンスしていく必要があると思われる。

令和6年度 輪島市6小学校 保護者アンケート(中間結果)
輪島市立鳳至・鶴巣・河原田・三井小学校結果分

※上段数値:中間・下段数値:最終

		1 あてはまる	2 ややあてはまる	3 あまりあてはまらない	4 あてはまらない	5 わからない	肯定意見 %
(1)	お子様は、楽しく学校へ通っている。	60%	35%	5%	0%	0%	95%
(2)	お子様は、学校で勉強する内容が分かっている。	38%	50%	8%	2%	2%	88%
(3)	お子様は、学習や学校行事にがんばっている。	62%	35%	3%	0%	0%	97%
(4)	お子様は、正しい挨拶や言葉遣いができている。	19%	57%	19%	11%	0%	76%
(5)	お子様は、家庭学習に取り組んでいる。	28%	43%	19%	11%	0%	71%
(6)	学校はいじめやその他のトラブルに、迅速に対応している。	44%	33%	5%	1%	19%	77%
(7)	学校は、学校行事が充実するよう努めている。	68%	27%	4%	0%	1%	95%
(8)	学校はお子様のことについて相談しやすい雰囲気である。	54%	33%	10%	0%	3%	87%
(9)	保護者として、学校からの便利（学校・学年・保健・図書・給食）を読んでいる。	62%	32%	4%	2%	0%	94%
(10)	保護者として、お子様の成長を願い、褒めたりアドバイスしたりしている。	48%	51%	1%	0%	0%	99%

【中間結果数値の考察】○：成果 △：課題

○アンケート項目（1）（3）（7）の3点は学校への登校意欲や学校行事をはじめとする教育活動の結果が95%以上となり、今後も学校で様々な友達と関わり合いながら、児童個々の学びが充実していくように、学級経営・学年経営の充実に努めていく。そのためにも、児童一人ひとりの学びの足跡が可視化される学級掲示や、学級の課題を解決していくための取組を、学級活動で児童自身が考え、実践し、自己評価・他者評価を取り入れながら、より良い成長を学級全体で望んでいくことを重視していく。

○質問項目（10）では、保護者の方々が、児童への肯定的評価を伝えている割合が99%となった。大変ありがたく、嬉しい限りの数値であり、今後も保護者には、学校・学年・学級だより等で児童が成長した様子を伝え、保護者が、児童とともに成長を喜べる機会が一つでも多く設けられるよう、継続していく。

△質問項目（4）（5）においては基本的な生活習慣（挨拶・言葉遣い・家庭学習）の割合が70%台であり、保護者と協力しながら、児童個々の基本的な生活習慣の向上を目指していく。また、児童個々で、学級全体でできたことへの評価を適切に取り入れることは大切な指導であり、継続していく。

△質問項目（6）いじめをはじめとするトラブルについての評価で20%近くの保護者が「わからない」との回答となった。保護者と学校の情報共有が不十分であると受け止める。トラブルの対象となった児童においては、保護者に迅速に連絡するとともに、できる限りの早期解決に努めているが、今後も丁寧且つ迅速な対応ができるよう、児童・保護者に寄り添った対応を目指していく。このことは、質問項目（8）の肯定的評価の向上にもつながっていくと考える。

令和6年度 輪島市6小学校 教職員アンケート(中間結果)

※担当学年や担当業務によっては、各質問について「5のわからない」を回答している

※上段数値:中間・下段数値:最終

	1 あてはまる	2 ややあてはまる	3 あまりあてはまらない	4 あてはまらない	5 わからない	肯定意見%
(1) 児童が、楽しく学校へ通えるような学級経営や学年経営に努めた。	38%	44%	6%	0%	12%	82%
(2) 児童個々や学級全体の成長が、可視化された教室環境を整備することができた。	31%	31%	25%	0%	13%	62%
(3) 児童にとって、分かりやすく、興味関心が高まるような授業づくりができた。	15%	65%	1%	0%	19%	80%
(4) 学習や学校行事に頑張っている姿を、児童個々や全体を、その都度評価した。	56%	31%	0%	0%	13%	87%
(5) 児童が、正しい挨拶や言葉遣いや早寝早起きなど基本的な生活習慣が身につくよう、継続的に指導した。	25%	56%	6%	0%	13%	81%
(6) 児童が進んで家庭学習に取り組めるよう、学級活動などで考えさせた。	6%	56%	19%	0%	19%	62%
(7) いじめやその他のトラブルについては、職員全体で迅速に対応できた。	56%	32%	6%	0%	6%	88%
(8) 学校行事が充実するよう、職員同士で協力しながら進めることができた。	56%	25%	13%	0%	6%	81%
(9) 地域人材や地域資源を有効活用し、家庭や地域との連携を進めることができた。	19%	56%	13%	0%	13%	75%
(10) リアルタイムにお便り(学校・学年・保健・図書・給食)を発行し、日々の教育活動を発信し、保護者との情報共有に努めた。	26%	32%	18%	12%	12%	58%
(11) 自分の担当業務や学級全体の業務について、見通しをもちながら取組を進めることができた。	44%	56%	0%	0%	0%	100%

【中間結果数値の考察】○:成果 △:課題

○△質問項目(11)において、担当業務への計画的な取組が100%となった。6つの小学校が合同で教育活動を進めるにあたり、制約などはあるが、職員個々が働き方を意識して業務に尽力している。しかし、6つの小学校の職員が仮設校舎で互いに研鑽を積める環境下にあることは、有益なことであり、質問項目(8)の職員同士で協力しながら取り組めたと感じる職員の割合を100%にしていくことが課題となる。

△質問項目(6)の家庭学習について、その意義や価値の大きさ、自分の未来につながっていくことなどを学級活動で児童自身に考えさせたり、気づかせたりする学級活動を中心とした学びの場の設定を、全学級で発達段階に合わせて実施していく。

△質問項目(4)についてのわからないと回答する職員の割合が13%となった。職員個々の担当業務によっては、児童が頑張っている姿を評価するのは、難しい面もあるかと思うが、全ての職員が児童の頑張りを、個々が評価していく学校の姿を実現していく。児童への評価方法は授業者としての言葉かけをはじめ、学校・学年だより以外にも、各種のお便りにも、評価コメントは掲載や、昼休み等の時間に職員が個々へ伝える等が考えられる。このことは質問項目(10)との関係も深い。

△質問項目(2)の児童個々や学級全体の成長が見える学級掲示であるが、職員は限られた時間の中で、工夫しながら取り組んでいる。学年で共通の掲示物を作成する場合は、各学年3組の学級編成であり、スクールサポートや校務士の方々の協力を受けて、分担したりするなどして、充実させていくことができると考える。

輪島市6小学校 学校評価（中間評価）

※学校評価については、学校公開期間にご来校いただいた評議員の方による評価

評価項目	評価（A・B・C）			学校評議員の方々からのご助言
	A 十分良い	B 概ね良い	C 改善が必要	
① 輪島っ子は、学校生活を楽しく過ごしている。	A 83%	B 17%	C 0%	・校舎を変わりつつも良い笑顔が見られた。
② 輪島っ子は、意欲的に学習に参加している。	A 50%	B 50%	C 0%	・2年生の手作りゲームに、つい参加してしまい楽しかったです。
③ 輪島っ子は、あいさつや返事などの礼儀が身についている。	A 0%	B 71%	C 29%	・廊下では、児童から挨拶をしてほしいです。
④ 輪島っ子は、時間を守って行動している。	A 57%	B 28%	C 15%	
⑤ 先生は、児童に楽しく分かりやすく学べる授業になるよう努力している。	A 80%	B 20%	C 0%	・手厚い環境での授業であった。 ・先生方は、各教室で努力されていました。
⑥ 先生は、児童に学習規律が身に付くよう、その都度指導している。	A 50%	B 50%	C 0%	
⑦ 先生は、寄り添って児童に接している。	A 86%	B 0%	C 14%	・校長先生が児童の中へ入っついていき、頼もしかったです。
⑧ 教室の学習環境が整っている。	A 29%	B 29%	C 42%	・2階はいいが、1階の部屋は音が響くため。
上記の項目以外のご助言	<p>・校舎（外観・廊下・階段）を見ると仮設校舎かと思われたが、教室ではあたたかい雰囲気であった。心の教育（非行被害防止教室）では、生徒さんの発言に健全なる姿が見られました。大人にとってもよい時間を過ごせました。先生方の手厚い指導に感謝しています。</p> <p>・仮設校舎に初めて来校しましたが、明るくて児童たちが楽しそうに学習していました。これからも応援しています。</p> <p>・環境の変化があっても、元気な表情を見られました。</p> <p>・とても良い子たちです。これから更に良い学校にしてほしいものです。先生方、お一人お一人の接し方、教え方にKeyがあります。弱い子、心配な子にもしっかり目を配り、ますます素敵な学校にしてください。</p>			

【評議員の方からの評価を受けて】

○授業について

(関連項目①②⑤⑦)

- ・児童にとって興味関心が高まる導入素材をはじめとする教材研究・教材開発を今後も継続し、学ぶことに楽しさや喜びを感じる授業づくりを実現する。
- ・輪島市6小学校として教育活動を進めている利点の一つである「多様な考えが出やすい」ことを、授業づくりを生かし、多様な考えに触れながら課題を解決する場を授業に設定する。
- ・成功に導いていくために、失敗体験を繰り返しながら試行錯誤する時間を、授業をはじめとする教育活動において重要視し、自ら行動できる力を育成していく。

○生徒指導について

(関連項目①③④⑥)

- ・児童の心的ストレスをはじめとする児童個々の状況を理解し、児童の思いを傾聴し、児童に対して児童の持つ可能性を評価し成長を促していく姿勢を継続する。また、保護者に対しては家庭訪問や電話連絡、学年だよりで、児童個々や学年全体の成長を伝え、保護者と連携していく。
- ・児童自身に学年行事や学校行事、児童会活動を企画させ、児童の児童による児童のための活動を重視していく。
- ・学級活動で、自分たちの学級が更によりよくなるために、どのような問題点があるのかをテーマにした授業を実施し、児童自身が話し合っって決定した、具体的な方法に取り組ませるとともに、進捗状況をその都度判断させる活動を継続していく。
- ・職員終礼での児童理解や児童理解研修会については、今後も定期的開催し、全職員で児童個々の理解に努め、共通指導を継続していく。
- また、いじめをはじめとする重大事案については、対策チームを機能させ、関係諸機関との連携も視野に入れながら、早期解決に努める。

○その他

(関連項目⑧)

- ・2階の音が響く状況については、仮設校舎の構造上仕方ない面があるが、児童に相手意識を持たせることで、1階に響く音を解消していく。
- ・現在、よりよい授業づくりを目指して、他学級の授業を参観する場を設けている。参観したときに、自分の学級で生かしたい学級掲示などの工夫をいかすよう研究主任を中心に働きかけていく。